



渡辺 道仁  
(自民党)

**大谷街道に接続する  
スマートインターチ  
エンジの整備を**

や国土交通省、県などの関係機関で構成する勉強会の中で、スマートインターチェンジ設置に伴う周辺道路の円滑な交通の確保に向けた対応策などを検討するとともに、交通影響調査を実施してきた。

**問** 現在、大谷地区でスマートインターチェンジの設置が検討されているが、大谷街道に接続して整備されると、中心市街地へのアクセス向上や広域交通ネットワークの強化が図られ、効果的な交通体系が確立できるとともに、市を代表する観光資源が数多くある西部地区の観光や地域の振興が期待できると考える。

設置に向けて、現在の進捗状況と今後の進め方は。

**答** スマートインターチェンジは、大谷街道へ接続する位置に設置することが最も効果的であることから、ネクスコ東日本

現在は、現状の交通に影響がある箇所への対策について、ネクスコ東日本や県と協議を進めている。今後は、事業内容や、整備に向けた役割などについて関係機関と合意形成を図り、地元説明会を開催し、地域の理解を得ながら、事業着手に向け取り組んでいく。

**現在の交通に影響がある箇所への対策について、ネクスコ東日本や県と協議を進めている。今後は、事業内容や、整備に向けた役割などについて関係機関と合意形成を図り、地元説明会を開催し、地域の理解を得ながら、事業着手に向け取り組んでいく。**



**その他の質問項目**

- ①市の行財政運営（25年度予算編成方針ほか）
- ②まちづくり（LRTとネットワーク型コンパクトシティほか）
- ③観光行政
- ④保健福祉行政（高齢者ボランティアポイント制度ほか）
- ⑤農業政策
- ⑥教育行政（民間人校長ほか）
- ⑦市公共下水道雨水整備計画の改定



塚田 典功  
(自民クラブ)

**実効性ある計画で、  
歯と口腔の健康を維持せよ**

が、成人期で進行した歯周病の割合が全国平均より高い傾向である市の現状を踏まえ、市民が歯と口腔の健康づくりにより実践的に取り組めるよう乳幼児期から高齢期までの歯や口腔の状態に応じたライフステージごとの目標を設定するとともに、市民や行政などの役割を具体的に示していきたい。

**問** 歯と口腔の健康は、全身の健康状態の改善に大きく寄与し、生活習慣病と歯周病が深く関連することも指摘されている。超高齢社会を迎える。超高齢社会を迎える。生涯を通じての歯と口腔の健康維持は、今までの以上に大きな意義が有ると考える。

歯と口腔の健康を総合的・計画的に推進するため（仮称）歯科口腔保健基本計画」を策定中だが、どのような実効性がある内容を盛り込もうと考えているのか。

また、策定の進捗状況はどうなっているのか。

**答** 乳幼児・学齢期のむし歯本数は減少傾向であ

進捗状況は、現在、現状や課題を踏まえた計画の骨子案を取りまとめているところであり、国の法律や県の計画と整合を図るとともに今後、歯科医師会などの関係団体と意見交換をしながら進めていく。

**その他の質問項目**

- ①市長の政治姿勢（国の経済財政政策と市の対応ほか）
- ②中心市街地のまちづくり（高齢者の居場所づくりほか）
- ③市と県の協力事業（通学路の歩道整備に向けた対応ほか）
- ④殺処分ゼロに向けた取り組み
- ⑤教育行政（教育再生に向けた取り組みほか）



駒場 昭夫  
(市民連合)

**通勤実態を考慮した対策と概算整備費の見直しは**

に6本、2車体1編成の車両で120人の輸送力を想定してきた。今後のLRT整備の実現に向けた軌道事業の特許取得や事業認可にあたっては、利用者推計などの精査を行う必要があると考えており、25年度は工業団地の通勤バスを含めた公共交通利用者の実態調査などを実施していきたい。

**問** 宇都宮駅東側の工業団地内企業通勤バスの運行状況などについて現地調査を行ったところ、朝の通勤ピーク時に通勤バス利用者全員がLRTに乗車すると仮定した場合、当初計画のピーク時輸送力では、車両が満員状態になり、途中からの乗車が困難であると考えられる。

仮に、宇都宮駅東側にLRTを導入した場合、朝夕のピーク時間の対応について、運行頻度や導入車両変更など、計画変更による概算整備費見直しについて、見解は。

**答** LRTのピーク時の運行については、1時間

**その他の質問項目**

- ①農地における太陽光発電設備等設置に関する対応
- ②エコシティ宇都宮
- ③自転車走行空間の整備
- ④サイクリングロード
- ⑤バス停付近への駐輪場の整備
- ⑥LRT導入計画ルート付近へのモビリティマネジメント施策の推進
- ⑦JＲ宇都宮駅東側の渋滞対策 ほか